

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公開番号】特開2005-52658(P2005-52658A)

【公開日】平成17年3月3日(2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報2005-009

【出願番号】特願2004-230068(P2004-230068)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 2 0

G 0 1 N 24/02 Y

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

一般に、従来のデバイスは、通常は水またはエチレングリコールであるような何らかの形態をした冷却材を利用して熱遮断性を提供している。しかし、最新の撮像プロトコルでは使用するパワーレベルがより大きく、温度限界を超えることなくこうした高度な検査を可能にするにはさらなる努力が要求される。別のデバイスでは、患者ボア内に直接空気を吹き入れているような空気冷却方式を利用している。この方式の主たる限界は、患者から寒すぎるとの苦情が多いことである。さらに別の欠点は、患者の大きさに応じて空気の流量が大幅に変動することがあり、これによって幾つかのケースでは空気の流れが不十分となったり不規則となって患者をまったく冷却できないことである。

【特許文献1】米国特許第5793209号